

平成 年度 (年 月 ~ 年 月) 安全衛生計画書 (総合建設業店社作成例)

会社名 _____ 印

代表者名 _____ 印

平成 年 月 日作成

安全衛生方針	<ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生関係法令を遵守する。 ・予知した危険性に対応した実施事項を実施する。 ・全従業員への安全衛生教育を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全従業員の協力のもとに安全衛生管理活動を実施する。 ・工事に使用する機械設備等の安全化を図る。
--------	---	---

特定した危険・有害要因 ・作業手順どおり運用が不十分 ・みんなで守る基本事項の不徹底 ・工事前の危険有害要因の特定及び実施事項の特定の未実施	特定した危険・有害要因に対しての実施事項 (除去又は低減策) ・送り出し教育による作業手順の順守指導 ・安全パトロールの強化による安全ルールの徹底、KY活動のマンネリ化の防止 工事安全衛生計画書・作業計画書の作成による危険有害要因の特定及び実施事項の特定強化
---	--

安全衛生目標	・安全ルールの順守率 80%以上を確保 (安全パトロール点検表で評価) ・工事安全衛生計画書及び作業計画書の作成率 90%以上を確保 (作成率で評価)
--------	--

安全衛生計画								
重点施策	実施事項	管理目標 (管理点)	実施担当	実施スケジュールと評価スケジュール				実施上の留意点
				4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	
安全衛生教育の実施	送り出し教育の実施 CFT教育の実施	現場配置の全従業員・2回 職長・安責者・1回	安全管理部長	5月	7月	11月		作業手順の順守を指導詳細は、実施計画による
安全ルールの順守	安全パトロールの強化による安全状態、不安全行動の排除	毎月1回・全現場	工事部長 安全部長					基本安全ルールの順守を指導 作業所実施事項の確認詳細は、実施計画による
工事前の危険有害要因の特定及び実施事項の特定	リスクアセスメント研修の実施 工事前のリスクアセスメントの実施及び工事安全衛生計画書の作成	現場配置の全従業員・2回 請負工事の全現場実施	安全部長 現場責任者	4月	7月			RA研修講師養成 RA社内審査体制整備
建設機械等作業計画書の作成	建設機械・移動式クレーン作業計画書の作成及びその周知	全工事現場での作成、周知	重機管理課長 現場主任					様式の準備 作成に係る指導徹底

作業所共通の重点施策・実施事項			
重点対策	実施事項	重点対策	実施事項
墜落災害防止措置の徹底	・脚立足場の安全使用	車両系建設機械災害防止措置の徹底	・用途外使用の禁止
	・開口部の養生		・施回・走行範囲立入禁止、誘導による走行
	・安全帯の使用		・作業計画書の作成と関係者への周知徹底
作業中の安全衛生管理活動の推進	・現地KYの「私たちはこうする」を守る	移動式クレーン災害防止措置の徹底	・アウトリガーの最大張出し
	・作業手順を守る		・作業計画書の作成と関係者への周知徹底
	・作業開始前、作業中に安全確認を行う		

安全衛生行事			
4月	・社内安全協議会 (/15)	10月	・全国衛生週間 (/1~/7)
5月	・経営首脳者研修、建災防 分会総会	11月	・定期健康診断 (/)
6月	・全国安全週間準備月間 (/1~/30) 週間説明会、現場監督者研修	12月	・年末年始労働災害防止期間 (12/1~1/15)
7月	・全国安全週間 (/1~/7) 熱中症予防月間、建設機械災防研修会	1月	・災防団体 安全祈願祭
8月	・熱中症予防月間	2月	・(元請) 建設(株)安全大会 (/)
9月	・全国衛生週間準備月間 (/1~/30) 週間説明会参加	3月	・年度末労働災害防止強調月間 (/1~/31)

安全衛生管理体制		
管理者区分	役職名	氏名
安全衛生担当役員	副社長	
雇用管理責任者	総務部長	
総括安全衛生管理者	"	
安全管理者	安全部長	
衛生管理者	"	
安全衛生推進者		
工事担当責任者	工事部長	

<摘要>	・常時 100 人以上の労働者を使用するとき ・常時 50 人以上の労働者を使用するとき ・常時 10 人以上 50 人未満の労働者を使用するとき	総括安全衛生管理者を選任 安全管理者、衛生管理者、産業医を選任 安全衛生推進者 (又は衛生推進者) を選任
------	---	---

特記事項	
------	--

注) この書式は参考書式なので、自社が定めた書式を使うことで、差し支えありません。